

令和5年度第2回学校関係者評価委員会

日時 令和6年2月14日(水) 13:45～15:15

場所 串木野高等学校校長室

1 委員

串木野高等学校同窓会長	久木野親志
串木野高等学校PTA会長	肥前 智幸
いちき串木野市立串木野中学校長	森本 信一
串木野日置法人会広報委員長	二町 一成
串木野高等学校同窓会副会長	寺師真由美

2 学校職員の出席者

校長 教頭 事務長

教務部主任 進路指導部主任 生徒指導部主任 保健部主任

3 内容

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員及び学校職員紹介
- (3) 学校概況説明
- (4) 質疑応答(意見交換を含む)

4 委員からの御意見等

- ・タブレットの活用状況について。

2年生で原則購入させ、1年生は学校配備のものを貸し出している。職員により活用状況は異なる。教科の特性もあるが、小中学校での活用は進んでいるので、職員の積極的な活用を推進していきたい。

- ・生徒指導の今後のあり方について。

服装規定等、生徒や保護者に説明できる規定をつくっていくことが必要。生徒の意見を取り入れる機会を設けてほしい。今の生徒は、自主性があるように感じるので「自分たちのつくった規定」であれば守ってくれると思う。

高校側の規定が定まれば、中学校側も指導しやすくなると思う。

- ・串木野高校に活気がないと地域が活性化しないように感じる。今回の出願者数は多いとのこと。継続していければよいと思う。

- ・生徒は何を楽しみに学校へ来ているのでしょうか。

少人数の長所である友人や職員との距離の近さが利点であると考え。声をかけてくださる先生も多く、安心して学校生活を送れている生徒が多い。中学校時不登校だった生徒がいきいきと生活している様子がうれしい。

- ・串木野高校の印象について

以前よりは、本校に対する印象は良くなっていると感じる。不登校生や学力に不安をもつ生徒が、元気に登校し、学校生活を送っている状況が、少しずつ地域や中学校へ浸透している。この状況をしっかり守っていきたい。国公立大学進学者も3年連続で輩出している。入学した生徒の進路希望に応じた対応は十分可能であることを、さらに知らせていきたい。